

11月度座談会



千日尼御前御返事

* * 地区



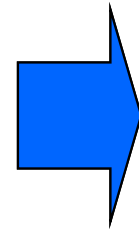
背景と大意

- 弘安元年 57歳 身延
- 与・千日尼(在佐渡)
- 別名 雷門鼓御書
- 千日尼の御供養に深く感謝
- 遠方よりの、尼の真心を称賛
- 雷門の鼓のように心は共に在る

心は此の国に

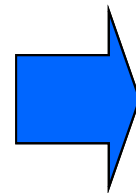


天月と池の月
鼓は須臾に聞ゆ

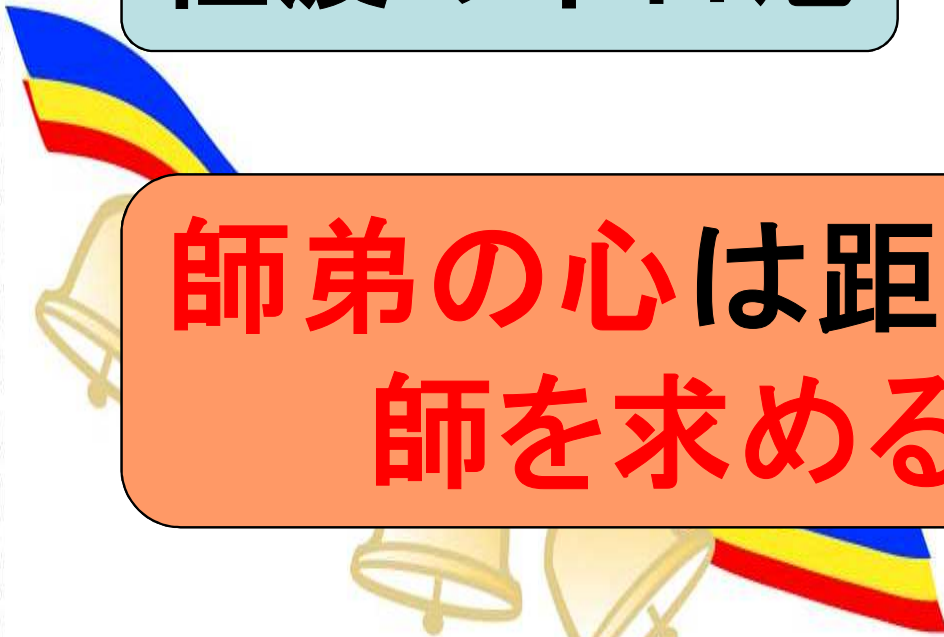


心の遠近は
距離ではない

佐渡の千日尼



心は鎌倉に
大聖人のもとに



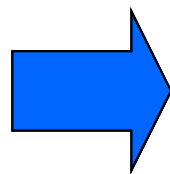
師弟の心は距離や立場ではない
師を求める心に師弟不二

心は靈山に住む

身

穢土

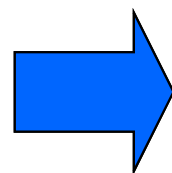
煩惱・娑婆



心

靈山

浄土・仏土



仏になる道
も此くの如し

師弟の思い
広布の思い

現実世界こそ成長と変革の場

心こそ大切

信心の心
師弟不二の心



場所・状況ではない
戦う心・実践が要

- 強き信に全てを転換する力がある
- 戦いに一歩も退いてはならない
- 師弟不二で現実に挑戦する実践を

指導から

- 信心の「一念」は距離を超える
- 師弟不二これが創価の大道である
- 師弟不二の魂が一切の障魔を打ち砕く
- 心こそ大切：心は必ず行動に現れる

真心に真心で応える

求道の信心で幸福境涯を